令和６年１０月１日公告

城東屋内プールロビー他空調設備改修工事

〇設計図書に修正がありました。再度ご確認下さい。

修正箇所	誤	正
設計図面No.1図	別紙（１）－１ 特記事項1.『本工事は令和6年3月1日～3月31日の期間内で完了させること。』 が誤り	別紙（２）－１ 特記事項1.『空調設備の停止期間は令和7年3月1日～3月31日であるので、この期間内で室内の施工を完了し、空調設備を使用できるようにすること。』に修正
設計図面No.17図	別紙（１）－２ 空調機器表　備考欄に『参考』の記載なし	別紙（２）－２ 空調機器表　備考欄に『参考』を記載

工　事　概　要

施設名称	城東屋内プール
所 在 地	大阪市城東区関目2-17-45　　電話番号　06-4255-0230
工事内容	本工事は空調設備の改修工事を行う。

一般事項

1. 本工事は、学校または施設運営中の工事であり、学校授業または施設営業、諸行事により作業時間、作業場所、工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側または施設側と充分な打合せのうえ施工すること。
2. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員に通知すること。
3. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
4. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は、速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
5. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
6. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
7. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
8. 車両入場において、学校または施設周辺道路の規制等を遵守し、工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校または施設利用者等の安全について充分に注意すること。
9. 別契約の関連する工事との施工時期及び施工の取合い等は、別途契約受注者と充分な打合せを行うこと。
10. 学校または施設等が他受注者と別途契約した工事と、本工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。
11. 産業廃棄物の処理にあたっては、電子マニュフェストを使用すること。
12. 工事着手前に改修等工事に係る全ての部分について、石綿含有の事前調査を行い、「解体等工事に係る事前調査書面」を作成し、事前調査の結果を監督職員に報告するとともに、事前調査結果を現場に掲示する。
13. 解体等工事に係る事前調査書面の監督職員による確認後、電子システム(石綿事前調査結果報告システム)により所轄労働基準監督署及び所轄自治体へ報告すること。
14. 地中埋設配管の損傷事故を防止するため、掘削作業等を行う際は、監督職員と既設配管の情報を共有し慎重に作業を行うこと。
15. 足場の設置・解体など上下作業については、第3者災害や既設建物及び設備の損傷などを起こさないよう、作業開始前に荷揚げ荷下ろし方法と落下防止措置を確認すること。
16. 施設敷地内及び周辺は禁煙とする。

工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲での施工について（ 注意事項 ）

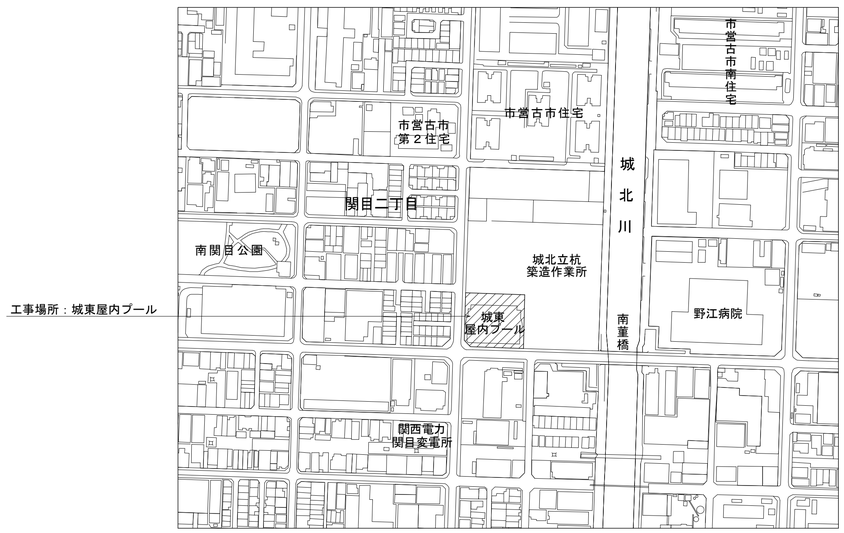
使用中の学校または施設で夜間や休日に施工する場合など、工事範囲と工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲が重なる工事においては、特に安全管理の徹底を図り、以下のような点について留意すること。

1. 高所や天井などに取り付ける資機材については落下の危険性に特に注意すること。
2. 仮囲いなどは容易に開閉ができないようにすること。
3. 作業終了後には、工具や資機材を施設利用者が使用する範囲内に残置しないこと。また、機器、配線、配管等を仮止めや半固定の状態で残置しないこと。

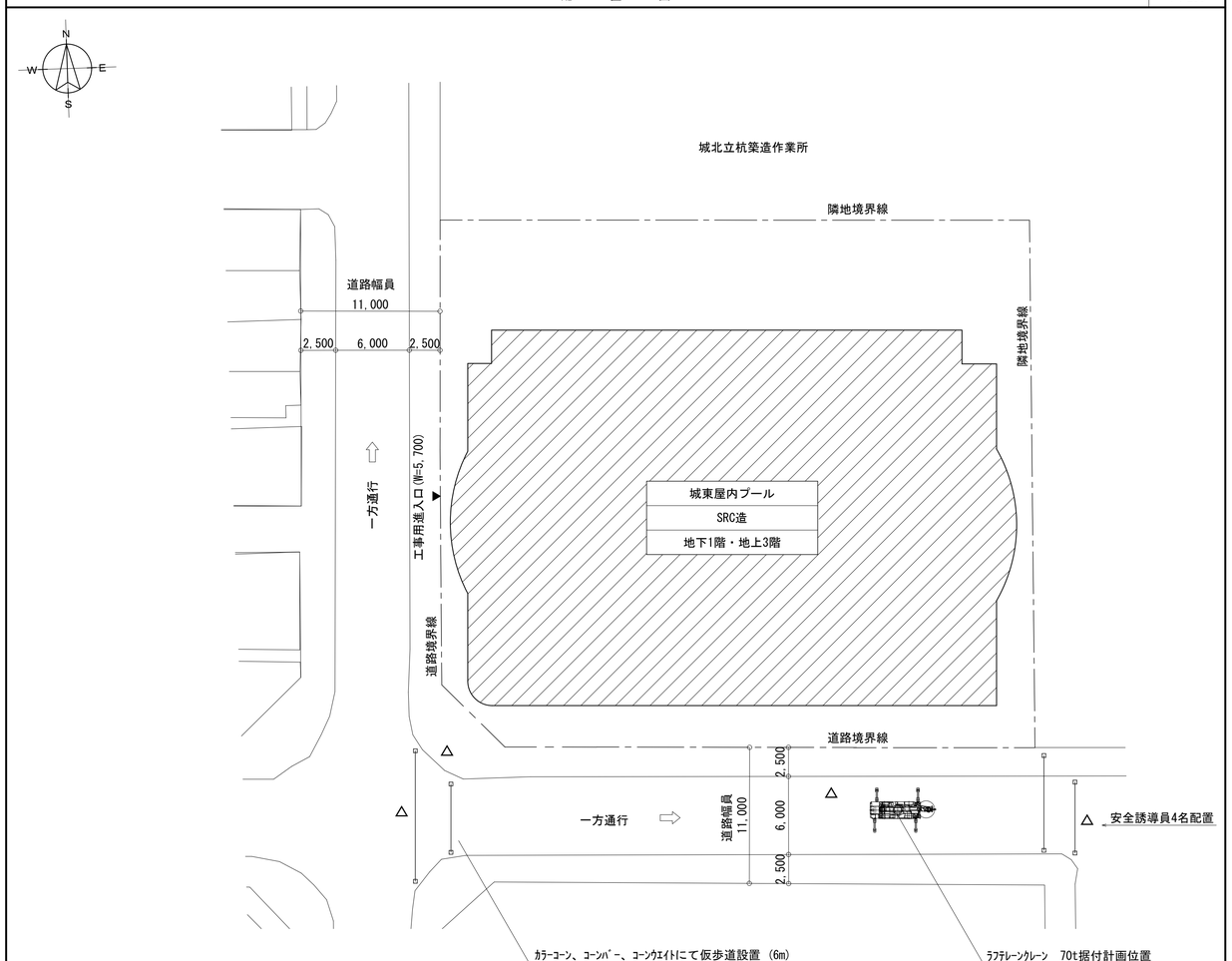
特記事項

1. 本工事は令和6年3月1日～3月31日の期間内で完了させること。
2. 室内作業の支障となる机・椅子・棚等は本工事で一時移動を行い、作業完了後は元の位置へ戻すこと。
   また、事務用品・パソコン・プリンター等の移動は、施設管理者と充分な打合せのうえ、施設側にて移動を行う。
3. 室内工事前は充分な養生を行い、作業後は養生撤去のうえ周辺の清掃を行うこと。
4. 機器への1次側電源接続及び切離しは、本工事にて行うこと。また、その工事を行う者は、有資格者(第1種電気工事士)とする。
5. 本工事に伴う関係法令及び法規による手続き(所轄官公庁との協議、申請書類及び図面作成一式)は、工事受注者において遅延することなく速やかに行い、その費用は本工事に含む。
6. 機器搬入に伴う揚重作業は、第3者(施設利用者、通行人、通行車両等)への安全を充分に考慮した計画(搬入計画及び仮設計画書等作成)により、作業を行うこと。なお、揚重作業は昼間作業とする。
7. 施設内に工事車両の駐車ができない場合は、近隣の有料駐車場を利用し、その費用は本工事に含む。
8. 工事用トイレは既存施設内トイレを借りることとし、場所は施設管理者の承諾を得た上決定すること。(清掃管理を徹底する。)

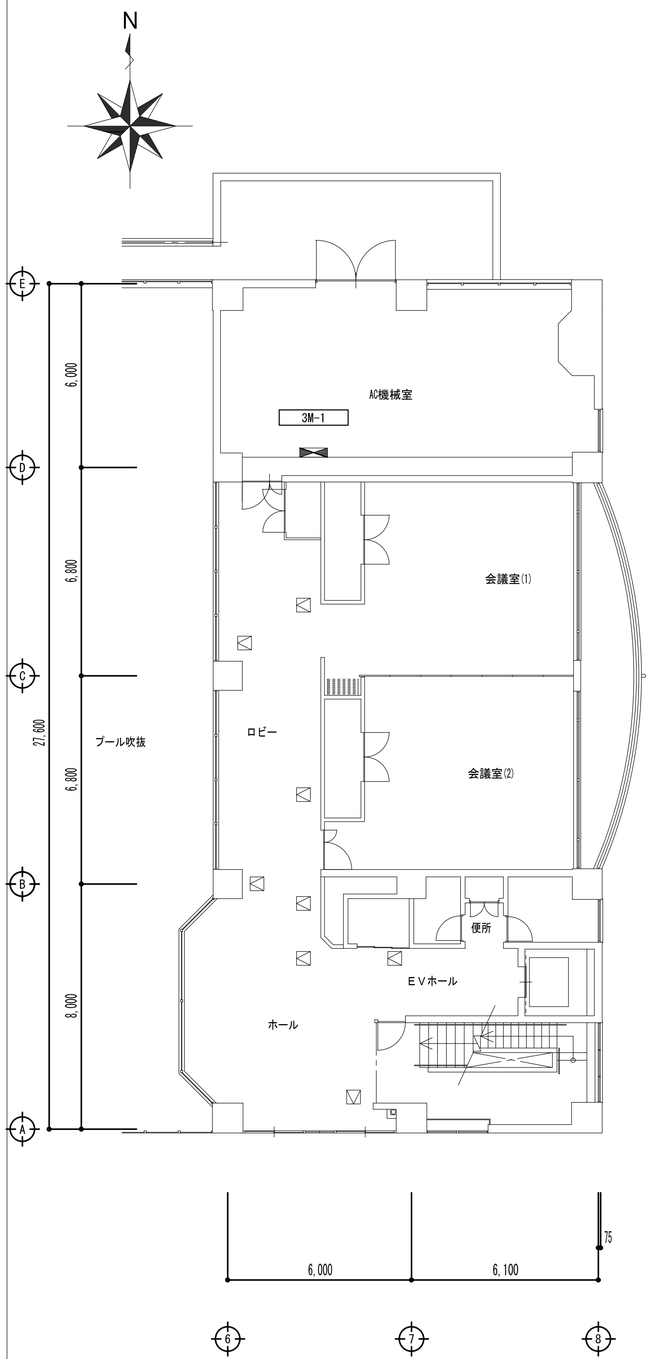
付　近　見　取　図　　1：2,500



配　置　図　　1：250

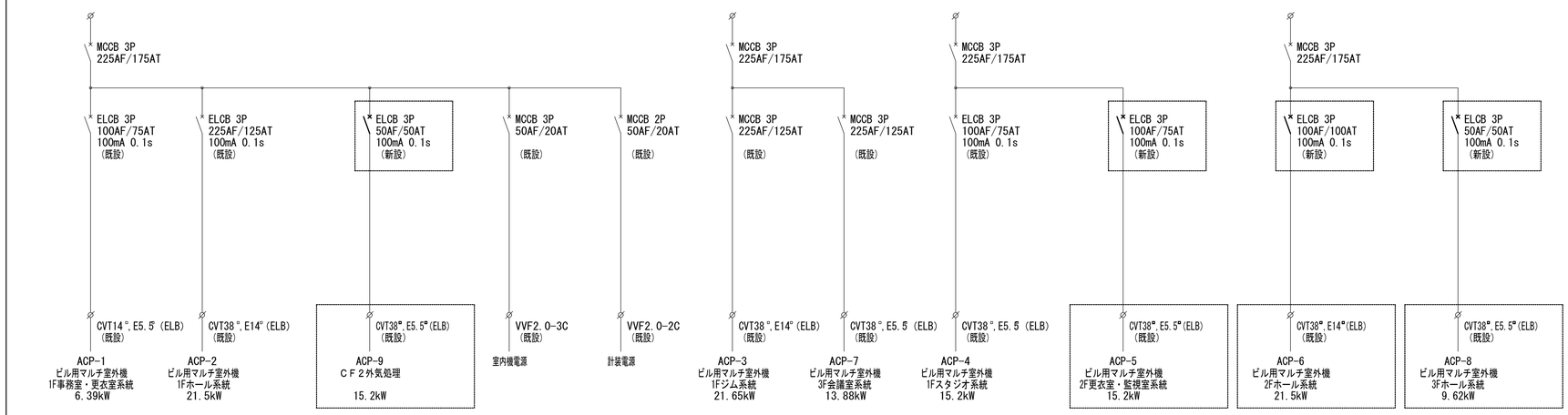


工事名称	城東屋内プールロビー他空調設備改修工事		令和 5 年度
図面名称	工事概要・付近見取図・配置図		図面ｻｲｽﾞ：A1
縮　尺	1：2,500、1：250	図面番号	No. 1 （ 18 枚の内）
大阪市都市整備局 企画部施設整備課	設計事務所	(一財)大阪建築技術協会	



電気設備　３階平面図（改修）　1:100

３Ｍ－１　結線図（改修）



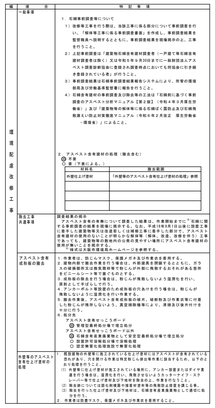
特記事項

電気工事については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版及び公共建築設備標準図（電気設備工事編）令和4年度版による。

上記によるも配線の色別、機器取付高さ、接地抵抗値、予備品等は監督員指示による。

一　般　事　項

1. 本工事は、学校または施設運営中の工事であり、学校授業または施設営業、諸行事により作業時間、作業場所工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側または施設側と充分な打合せのうえ施工すること。
2. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員に通知すること。
3. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
4. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
5. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
6. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
7. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
8. 車両入場において、学校または施設周辺道路の規制等を順守し、工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校または施設利用者等の安全について充分に注意すること。
9. 別契約の関連する工事との施工時期及び施工の取合い等は、別途契約受注者と充分な打合せを行うこと。
10. 学校または施設等が他発注者と別途契約した工事と本工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。



（凡例）

図記号	名称・仕様	備考
⋈	動力盤「３Ｍ－１」（結線図参照）	既設

（注記）

1. 空調機取替に伴い、動力盤のブレーカーを取替える。
   新設するブレーカーは高調波対応品とすること。
2. 空調機取替に伴い、電源ケーブルの切離し・再接続を行う。
3. 3M-1盤内にて、接続アースをED アースからELBアースへ接続変えを行う。

空　調　機　器　表　［改修］

記号	名称	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源 (相-V)	定格消費電力 (kW) 冷房時	定格消費電力 (kW) 暖房時	電動機出力 (kW) 室内送風機	電動機出力 (kW) 圧縮機	電動機出力 (kW) ファン	設置場所	台数	リモコン数量	備考
ACP 5	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	45.0	50.0	3-200	13.7	15.2	－	13.7x1	0.66x2	R階：屋上	1	－	RQYP450FC（ダイキン工業）
														寸法：1240x765x1660H　重量：291kg
ACP 6	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	56.0	63.0	3-200	17.5	21.5	－	16.5x1	0.72x2	R階：屋上	1	－	RQYP560FC（ダイキン工業）
														寸法：1750x765x1660H　重量：348kg
ACP 8	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	28.0	31.5	3-200	9.14	9.62	－	7.92x1	1.03x1	R階：屋上	1	－	RQYP280FC（ダイキン工業）
														寸法：930x765x1660H　重量：225kg
ACP 9	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	28.0	31.5	3-200	9.14	9.62	－	7.92x1	1.03x1	R階：屋上	1	－	RQYP280FC（ダイキン工業）
														寸法：930x765x1660H　重量：225kg

特記事項	図示記号凡例			工事名称	城東屋内プールロビー他空調設備改修工事		令和　4　年度
	・（　）は既設管等を示す。	・★印は配管分岐を示す。	・◯は新設機器記号を示す。	図面名称	特記事項　一般事項　３階平面図　盤結線図（改修）		図面サイズ：A1
	・✕✕は既設管等撤去を示す。	・☆印は配管閉栓を示す。	・◯は既設機器記号を示す。	縮　尺	1:100	図面番号　No.　17　（　18　枚の内）	
	・////は既設管等放棄を示す。	・▲印は配管接続を示す。		大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所	(一財)大阪建築技術協会
	・《　》は工事中配管等を示す。	・△印は配管切断を示す。					

工　事　概　要

施設名称	城東屋内プール		
所 在 地	大阪市城東区関目2-17-45	電話番号	06-4255-0230
工事内容	本工事は空調設備の改修工事を行う。		

一般事項

1. 本工事は、学校または施設運営中の工事であり、学校授業または施設営業、諸行事により作業時間、作業場所、工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側または施設側と充分な打合せのうえ施工すること。
2. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員に通知すること。
3. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
4. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は、速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
5. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
6. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
7. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
8. 車両入場において、学校または施設周辺道路の規制等を遵守し、工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校または施設利用者等の安全について充分に注意すること。
9. 別契約の関連する工事との施工時期及び施工の取合い等は、別途契約受注者と充分な打合せを行うこと。
10. 学校または施設等が他受注者と別途契約した工事と、本工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。
11. 産業廃棄物の処理にあたっては、電子マニュフェストを使用すること。
12. 工事着手前に改修等工事に係る全ての部分について、石綿含有の事前調査を行い、「解体等工事に係る事前調査書面」を作成し、事前調査の結果を監督職員に報告するとともに、事前調査結果を現場に掲示する。
13. 解体等工事に係る事前調査書面の監督職員による確認後、電子システム(石綿事前調査結果報告システム)により所轄労働基準監督署及び所轄自治体へ報告すること。
14. 地中埋設配管の損傷事故を防止するため、掘削作業等を行う際は、監督職員と既設配管の情報を共有し慎重に作業を行うこと。
15. 足場の設置・解体など上下作業については、第3者災害や既設建物及び設備の損傷などを起こさないよう、作業開始前に荷揚げ荷下ろし方法と落下防止措置を確認すること。
16. 施設敷地内及び周辺は禁煙とする。

工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲での施工について（ 注意事項 ）

使用中の学校または施設で夜間や休日に施工する場合など、工事範囲と工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲が重なる工事においては、特に安全管理の徹底を図り、以下のような点について留意すること。

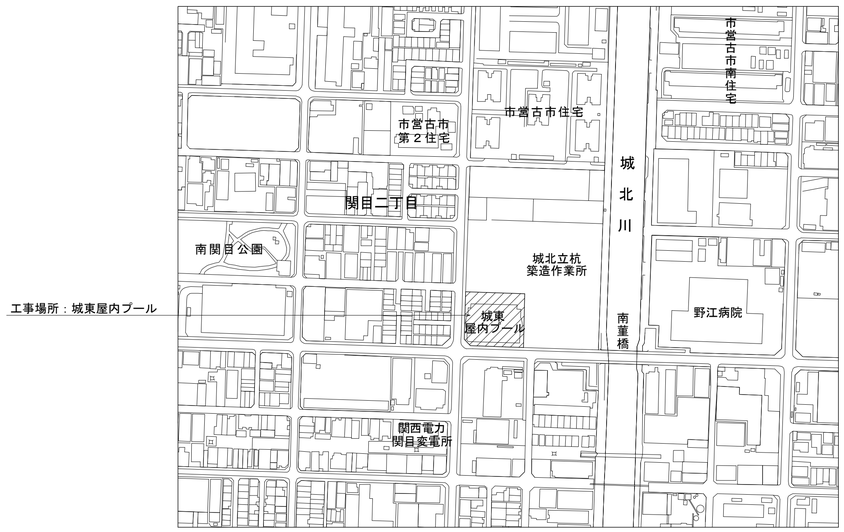
1. 高所や天井などに取り付ける資機材については落下の危険性に特に注意すること。
2. 仮囲いなどは容易に開閉ができないようにすること。
3. 作業終了後には、工具や資機材を施設利用者が使用する範囲内に残置しないこと。また、機器、配線、配管等を仮止めや半固定の状態で残置しないこと。

特記事項

1. 空調設備の停止期間は令和7年3月1日～3月31日であるので、この期間内で室内の施工を完了し、空調設備を使用できるようにすること。
2. 室内作業の支障となる机・椅子・棚等は本工事で一時移動を行い、作業完了後は元の位置へ戻すこと。
   また、事務用品・パソコン・プリンター等の移動は、施設管理者と充分な打合せのうえ、施設側にて移動を行う。
3. 室内工事前は充分な養生を行い、作業後は養生撤去のうえ周辺の清掃を行うこと。
4. 機器への1次側電源接続及び切離しは、本工事にて行うこと。また、その工事を行う者は、有資格者(第1種電気工事士)とする。
5. 本工事に伴う関係法令及び法規による手続き(所轄官公庁との協議、申請書類及び図面作成一式)は、工事受注者において遅延することなく速やかに行い、その費用は本工事に含む。
6. 機器搬入に伴う揚重作業は、第3者(施設利用者、通行人、通行車両等)への安全を充分に考慮した計画(搬入計画及び仮設計画書等作成)により、作業を行うこと。なお、揚重作業は昼間作業とする。
7. 施設内に工事車両の駐車ができない場合は、近隣の有料駐車場を利用し、その費用は本工事に含む。
8. 工事用トイレは既存施設内トイレを借りることとし、場所は施設管理者の承諾を得た上決定すること。(清掃管理を徹底する。)

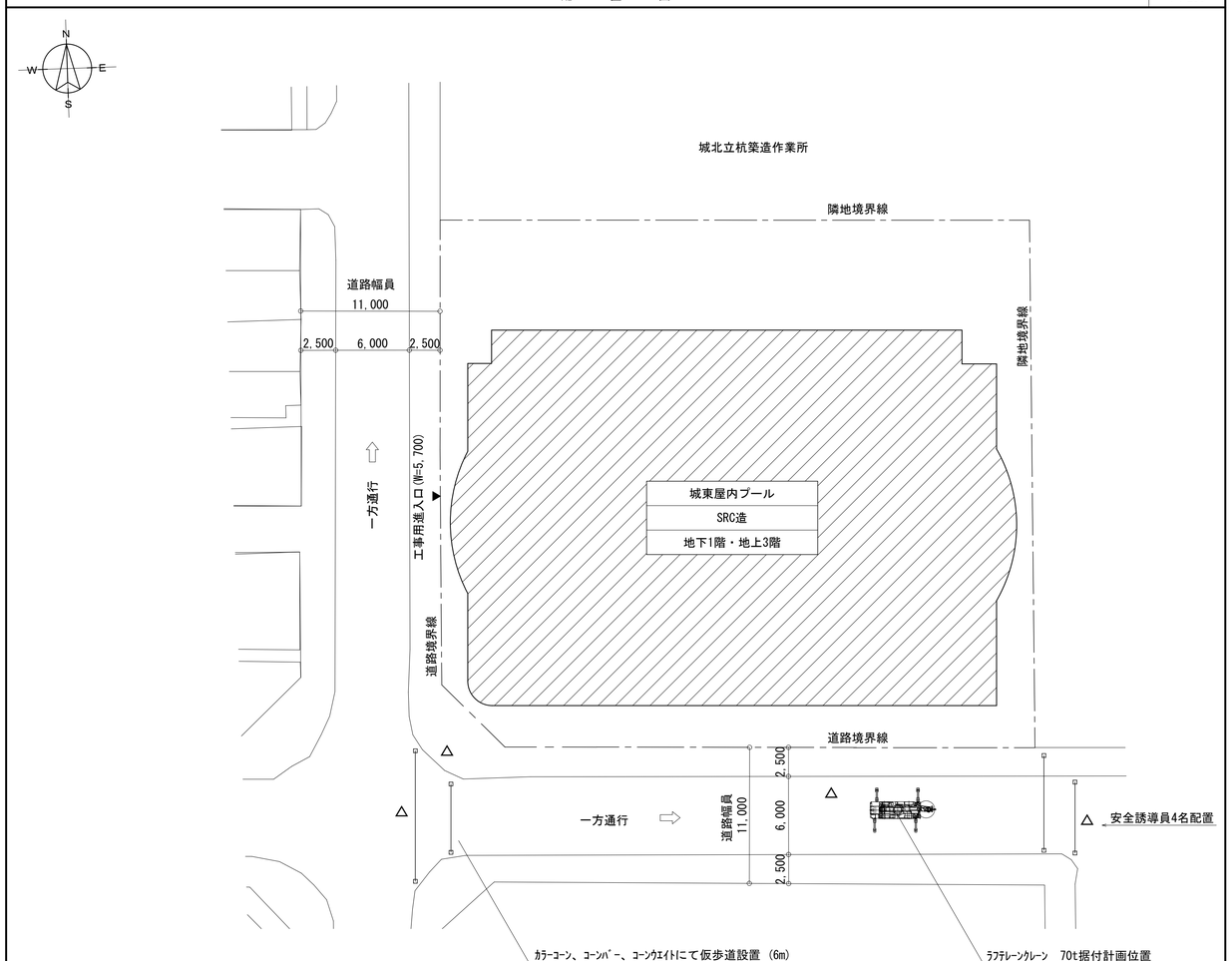
付　近　見　取　図

1：2,500

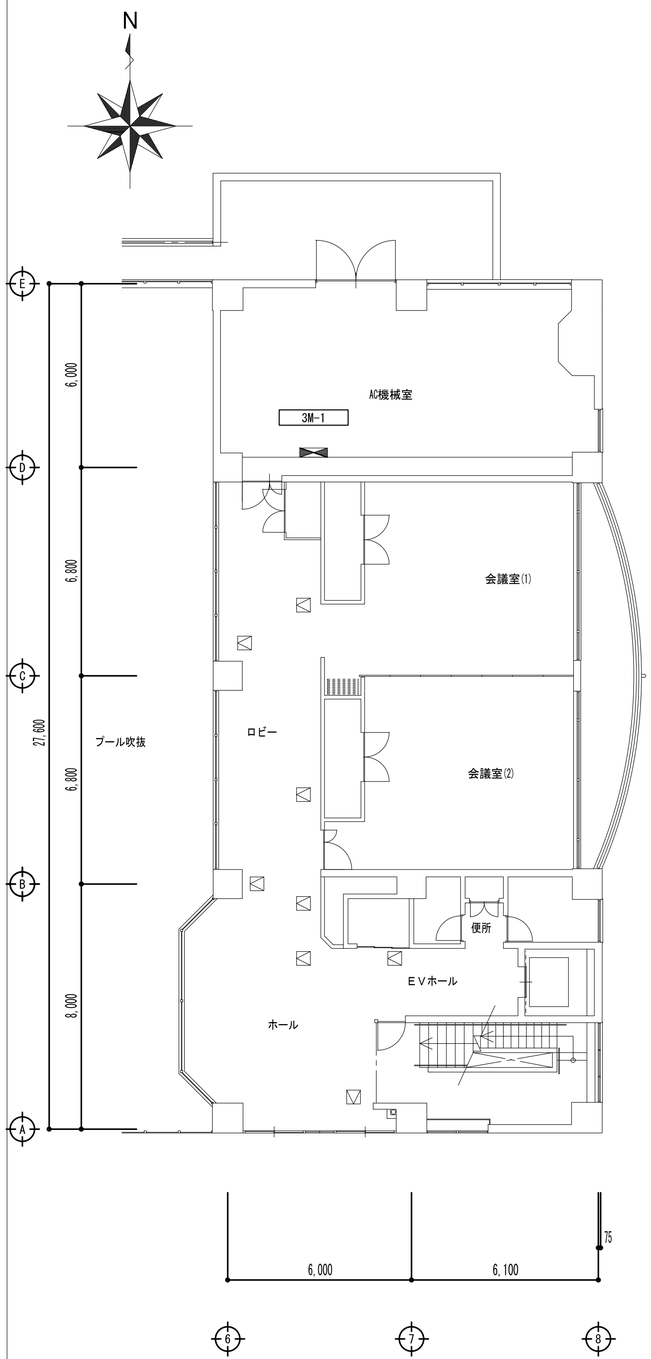


配　置　図

1：250

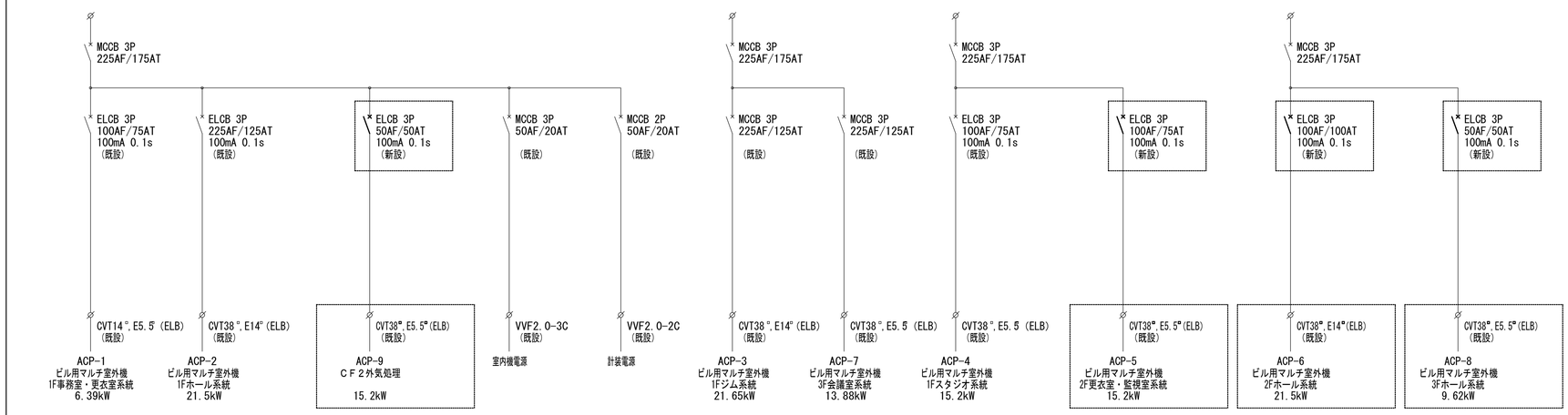


工事名称	城東屋内プールロビー他空調設備改修工事		令和 5 年度
図面名称	工事概要・付近見取図・配置図		図面ｻｲｽﾞ：A1
縮　尺	1：2,500、1：250	図面番号	No. 1 （ 18 枚の内）
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所	(一財)大阪建築技術協会



電気設備　３階平面図（改修）　1:100

３Ｍ－１　結線図（改修）



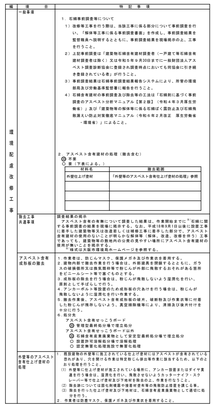
特記事項

電気工事については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版及び公共建築設備標準図（電気設備工事編）令和4年度版による。

上記によるも配線の色別、機器取付高さ、接地抵抗値、予備品等は監督員指示による。

一　般　事　項

1. 本工事は、学校または施設運営中の工事であり、学校授業または施設営業、諸行事により作業時間、作業場所工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側または施設側と充分な打合せのうえ施工すること。
2. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員に通知すること。
3. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
4. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
5. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
6. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
7. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
8. 車両入場において、学校または施設周辺道路の規制等を順守し、工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校または施設利用者等の安全について充分に注意すること。
9. 別契約の関連する工事との施工時期及び施工の取合い等は、別途契約受注者と充分な打合せを行うこと。
10. 学校または施設等が他発注者と別途契約した工事と本工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。



（凡例）

図記号	名称・仕様	備考
⋈	動力盤「３Ｍ－１」（結線図参照）	既設

（注記）

1. 空調機取替に伴い、動力盤のブレーカーを取替える。
   新設するブレーカーは高調波対応品とすること。
2. 空調機取替に伴い、電源ケーブルの切離し・再接続を行う。
3. 3M-1盤内にて、接続アースをEDアースからELBアースへ接続変えを行う。

空　調　機　器　表　［改修］

記号	名称	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源 (相-V)	定格消費電力 (kW) 冷房時	定格消費電力 (kW) 暖房時	電動機出力 (kW) 室内送風機	電動機出力 (kW) 圧縮機	電動機出力 (kW) ファン	設置場所	台数	リモコン数量	備考
ACP 5	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	45.0	50.0	3-200	13.7	15.2	－	13.7x1	0.66x2	R階：屋上	1	－	RQYP450FC（ダイキン工業）（参考） 寸法：1240x765x1660H　重量：291kg
ACP 6	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	56.0	63.0	3-200	17.5	21.5	－	16.5x1	0.72x2	R階：屋上	1	－	RQYP560FC（ダイキン工業）（参考） 寸法：1750x765x1660H　重量：348kg
ACP 8	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	28.0	31.5	3-200	9.14	9.62	－	7.92x1	1.03x1	R階：屋上	1	－	RQYP280FC（ダイキン工業）（参考） 寸法：930x765x1660H　重量：225kg
ACP 9	空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン（室外機）	スプリング防振架台共	28.0	31.5	3-200	9.14	9.62	－	7.92x1	1.03x1	R階：屋上	1	－	RQYP280FC（ダイキン工業）（参考） 寸法：930x765x1660H　重量：225kg

特記事項	図示記号凡例			工事名称	城東屋内プールロビー他空調設備改修工事		令和　4　年度
	・（　）は既設管等を示す。	・★印は配管分岐を示す。	・◯は新設機器記号を示す。	図面名称	特記事項　一般事項　３階平面図　盤結線図（改修）		図面サイズ：A1
	・×-×は既設管等撤去を示す。	・☆印は配管閉栓を示す。	・◯は既設機器記号を示す。	縮　尺	1:100	図面番号　No.　17　（　18　枚の内）	
	・////は既設管等放棄を示す。	・▲印は配管接続を示す。		大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所	(一財)大阪建築技術協会
	・《　》は工事中配管等を示す。	・△印は配管切断を示す。					